

種子島の地質層序

時代	地層名	地層の厚さ (m)	岩相	
現世	沖積層		旧砂丘砂層, 河川堆積物, 現砂丘 —— (不整合) ——	
更新世	ローム層	最大 4.5	火山灰, 軽石 —— (軽微な不整合) ——	
	竹之川層	10	赤褐色～茶褐色粘土砂, 一部に礫を伴う。 —— (?) ——	
	長谷層	5	砂岩の垂角礫 (巨礫～細礫) を主とする。 —— (不整合) ——	
鮮新世	増田層	20 ~ 100	淡褐色～茶褐色, 細粒～中粒砂。 (やや泥質), 偽層理の発達した礫質部, 化石の点在する泥質部を一部に伴う。 —— (不整合) ——	
中新世	玄武岩質貫入岩体	7 ~ 100	黒～暗緑色, 硬質ちみつ, 角閃石を含む。	
	茎永層群	大崎層	700	赤褐色～黄褐色, 中粒～粗粒砂岩。小礫よりなる礫岩と砂岩の薄層をしばしば挟む。
		河内層	320	青灰色泥岩。最下部, 最上部付近に, しばしば砂岩薄層を挟む。
		田代層	420	礫岩 (円磨された巨礫～中礫)。 上部に砂岩層を挟む。 —— (不整合) ——
三古紀(?)第	熊毛層群	?	暗灰色頁岩, 塊状灰色砂岩およびそれらの互層	

出典 日本の地下水 (農業用地下水研究グループ, 1986) (一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/ (日本地下水学会)